

平成30年度 土木部長の目標宣言 達成状況報告

土木部長 小川 博志

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
1	道路用地受入れ事業の推進 (土木総務課)	・「建築後退に伴う狭あい道路拡幅整備助成要綱」の規定に基づき、道路後退用地の取得に係る測量費、分筆費用及び工作物の撤去費用の一部を助成します。 ・また、後退用地のアスファルト舗装整備などを行います。	・測量・分筆費用助成件数 19件 ・支障物件撤去費用助成件数 11件	・道路用地受入れ事業については、国の交付金配分額の減による全体事業費枠の縮小と、建築行為による助成申請件数の減により、目標達成できませんでした。 [今後の取組の方向性] 助成制度の推進により、建築行為における道路後退用地の取得及び舗装整備を図ります。	・測量・分筆費用助成件数 3件 ・支障物件撤去費用助成件数 6件
2	舗装打換事業・橋りょう長寿命化対策事業の推進 (道路整備課)	・老朽化が著しい路線の舗装打換ならびに緊急輸送路等に位置づけがされている橋りょうの修繕・耐震化を実施します。	・舗装打換工事 12路線 4.0km ・橋りょう修繕・耐震工事 木津根橋(橋長 10.8m)	・舗装打換工事については、国の交付金配分額の減により、実施事業量を調整したため、目標達成できませんでした。 ・橋りょうの修繕・耐震工事については、橋りょう点検結果を受け、修繕計画を再検討し、工事対象橋りょうを変更して実施しました。 [今後の取組の方向性] 道路環境の向上を図るため、国の交付金などの財源確保に努め、老朽化が著しい路線の舗装打換を計画的に進めるとともに、橋りょうの長寿命化修繕計画に基づき橋りょうの修繕・耐震化を推進します。	・舗装打換工事 9路線 2.3km ・橋りょう修繕・耐震工事 新玉橋(橋長 12.3m)
3	都市計画道路田中笠窪線整備事業の推進 (道路整備課)	・地域間の交通利便性の向上を図るため、都市計画道路の整備を推進します。 ・平成30年度は、用地買収を進めるとともに、買収済み区間の道路築造工事及び電線共同溝工事を実施します。	・用地取得 5件 ・道路築造工事 140m ・電線共同溝工事 350m	・地域間の交通利便性の向上を図るため、都市計画道路の整備を推進しました。 ・用地取得は、長期間難航した案件の一部が解決したが、目標達成できませんでした。 ・電線共同溝工事は一部区間実施したものの、道路築造工事は国の交付金配分額が減となったため未実施とし、目標達成できませんでした。 [今後の取組の方向性] 事業の早期完成を目指し、国の交付金などの財源確保に努め計画的な事業推進を図ります。	・用地取得 2件 ・道路築造工事 未実施 ・電線共同溝工事 150m
4	交通安全施設整備事業の推進 (道路整備課)	・通学路をはじめとする市道の安全で安心な交通環境の向上を図るため、歩道や歩車共存道路等を整備します。	・歩道整備工事 3路線 250m ・歩車共存道路整備工事 3路線 1,095m	・通学路をはじめとする市道の安全で安心な交通環境の向上を図るため、歩道や歩車共存道路等の整備を実施しました。 ・歩道整備工事及び歩車共存道路整備につきましては、目標とした路線の整備が完了し、目標達成しました。 [今後の取組の方向性] 交通安全施設整備事業の計画的な推進を図り、歩行空間の整備を図ります。	・歩道整備工事 3路線 228m ・歩車共存道路整備工事 3路線 1,053m